

知事挨拶

皆さん、こんにちは。広島県知事の湯崎英彦です。

本日は、広島県子供議会に、県内各地から31名の子供議員の皆さんにお集まりいただき、ありがとうございます。

傍聴にお越しの保護者の皆様方におかれましても、何かと御多用のところお越しいただき、本当にありがとうございます。

さて、皆さんが今座っておられる議席は、日頃、県民の代表である県議会議員の皆様と私たち県の執行部で、広島に生まれ、育ち、住み、働いてよかったと心から思える広島県の実現のために、様々な問題について議論をする大切な場所です。

県の取組というのは、県議会議員や関係者の皆様と、いろいろ議論して大人同士で決めていくことがほとんどであります。広島県の未来を担う皆さんの視点は大変重要なものだと思っています。

実際に、昨日ニュースで皆さんもご覧になったかもしれませんが、2年前の子供議会で「ポイントが付くペットボトル回収機があったらよいな」という提案がありました。それが実は昨日実現しまして、セブンイレブンさんや日本財団の皆さんの御協力を得て広島県に第1号が設置されました。こういう風に提案が実現した事例もあるわけです。

さて、広島県では昨年、新たな総合計画——これは、これから向こう10年広島県がどんなところを目指すのか、どんな事をやるのか、という計画ですが——「安心▷誇り▷挑戦ひろしまビジョン」という計画を作りました。

10年後も皆さんが、広島県に住み続けたい、あるいは、進学や就職などで広島県を離れているかもしれませんが、やっぱり広島県に戻って働きたいとか、やっぱり広島ってよいなと思ってもらえるような、魅力あふれる県になるよう頑張っていきたいと考えています。

本日の子供議会に向けて、子供議員の皆さんは、「10年後の広島県がこうだったらいいのになあ」というテーマで調べていただいたり、様々なアイデアや意見を出し合ったり議論しながら質問や提案をまとめていただいたと聞いています。

広島県の未来について真剣に考えてくれた質問や提案に、私たち執行部も精いっぱい答弁させていただき、これからの県の行政に活かしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願います。